

研 究 活 動

(2013年10月～2014年9月)

心理学科

池田豊應

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(54) —2013年度ヨコ体験グループのまとめ—	学会発表	2014年5月	東海心理学会 第63回大会 岐阜大学 発表論文集	池田豊應, 山口大輝, 宮本崇弘, 石原真行, 井上丈夫	p.43
2. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(55) —「鏡齋」と名乗った事例—	学会発表	2014年5月	東海心理学会 第63回大会 岐阜大学 発表論文集	池田豊應, 中村翠, 田沼圭, 桃木徳博	p.44
3. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(56) —事例・鏡齋のロールシャッハ像—	学会発表	2014年5月	東海心理学会 第63回大会 岐阜大学 発表論文集	池田豊應, 植松善充, 近藤果里, 鈴木友佳子	p.45
4. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(57) —「ヨコ体験グループ」の集団療法的特質についての考察—	学会発表	2014年5月	東海心理学会 第63回大会 岐阜大学 発表論文集	池田豊應, 岸瑞恵, 河崎遙香, 鈴木規浩, 堀田貴大	p.46
5. 実直で自己主張の偏りすぎに悩む成人男子の回復過程 —「現存在実現の空間モデル」のあり方にみる—	学会発表	2014年10月	日本人間性心理学会 第33回大会 南山大学 大会発表論文集	桃木徳博, 池田豊應	pp.108-109

岡本真一郎

B (論 文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 他者内心表現における人称制限の解除	共著	2014年9月	日本語文法(14-2)	多門靖容	pp.67-83
2. Verbal Expressions of Risk Communication: A Case Study After the 3.11 Crisis	共著	2014年9月	Journal of Disaster Research(9)	Toshiko Kikkawa	pp.644-652

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. アイロニー研究の新展開	学会発表 (ワーク ショップ 話題提供者)	2014年9月	日本認知科学会第31回 大会, 名古屋大学	企画 内海彰ほか	

生越達美

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 愛知産業保健推進センターセミナー	講師	2013年10月	愛知産業保健推進センター	生越達美	
2. 心と体のリラックス	講師	2013年12月	愛知産業保健推進センター	生越達美	

3. 心と体のリラックスⅡ	講師	2014年1月	愛知産業保健推進センター	生越達美, 伊藤卓秋	
4. 心と体のリラックスⅢ	講師	2014年2月	愛知産業保健推進センター	生越達美, 伊藤卓秋	
5. 愛知産業保健推進センター定例セミナー	講師	2014年2月	愛知産業保健推進センター	生越達美	
6. 心と体のリラックスⅣ	講師	2014年3月	愛知産業保健推進センター	生越達美, 伊藤卓秋	
7. 国際学術交流	準講師	2014年3月	ベトナム ダナン大学	吉川吉美他	
8. テレビ報道番組出演「復職支援について」	講師	2014年4月	愛知産業保健推進センター	生越達美	
9. 産業保健推進センターセミナー	講師	2014年6月	愛知産業保健推進センター	生越達美	
10. 産業保健推進センターセミナー	講師	2014年7月	愛知産業保健推進センター	生越達美	
11. 心と体のリラックス	講師	2014年7月	愛知産業保健推進センター	生越達美, 伊藤卓秋	
12. 心と体のリラックスーその2ー	講師	2014年7月	愛知産業保健推進センター	生越達美, 伊藤卓秋	
13. 心と体のリラックスーその3ー	講師	2014年8月	愛知産業保健推進センター	生越達美, 伊藤卓秋	
14. 日本コラーゲル療法学会第6回大会ーロジャースからユングへー	講演者	2014年8月	愛知学院大学	生越達美	

金田宗久

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 外国人に対する態度と外国人イメージの測定	単著	2013年12月	愛知学院大学論叢 心身科学部紀要, 第9号	金田宗久	pp.39-44
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. ナラティブ形式による情報伝達の影響について	学会発表	2013年11月	日本社会心理学会第54回大会, 沖縄国際大学	金田宗久, 伊藤君男	
2. 印象判断におけるナラティブ情報の処理と認知的複雑性について	学会発表	2014年7月	日本社会心理学会第55回大会, 北海道大学	金田宗久, 伊藤君男	
3. 大学生の購買行動および購買後評価における製品関与の影響	学会発表	2014年9月	日本心理学会第78回大会, 同志社大学	金田宗久	

齋藤 眞

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 学校や保護者などとの連携	講師	2013年10月	愛知県適応指導教室連絡協議会地域別研修会(尾張地区)第一分科会	齋藤 眞	
2. 倉橋宏之「重症心身障害施設利用者とセラピストとの相互変容過程ー変則箱庭療法が産んだものー」へのコメント	指定討論者	2013年10月	日本箱庭療法学会第27回大会, 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス	齋藤 眞	
3. 風景構成法	講師	2014年1月	名古屋子ども適応センター	齋藤 眞	
4. かかわりでの気づきをきっかけに	講師	2014年4月	名古屋子ども適応センター	齋藤 眞	
5. 子ども理解を深めるための教育相談講座	講師	2014年8月	名古屋市教育センター	齋藤 眞	

榊原雅人

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Heart rate variability biofeedback improves cardiorespiratory resting function	共著	2013年12月	Applied Psychophysiology and Biofeedback Vol.38	Masahito Sakakibara, Junichiro Hayano, L.O Oikawa, Maria Katsamanis, & Paul Lehrer	pp.265-271
2. 就寝時状態不安と睡眠中の心肺系休息機能の関連について	共著	2014年 3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要心身科学 Vol.6	榊原雅人, 早野順一郎	pp.145-151
3. 心肺系休息機能と心拍変動バイオフィードバック	単著	2014年 4月	バイオフィードバック研究 Vol.41	榊原雅人	pp.5-10
4. リラクセーション評価尺度短縮版の開発	共著	2014年 8月	心理学研究 Vol.85	榊原雅人, 寺本安隆, 谷伊織	pp.284-293
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 就寝前 HRV-BF 訓練が睡眠中の心拍変動と起床時睡眠感に及ぼす影響	学会発表	2014年 6月	第42回日本バイオフィードバック学会学術総会(東邦大学)	榊原雅人, 早野順一郎	p.32
2. 心拍変動バイオフィードバック法	ワークショップ	2014年 9月	第78回日本心理学会(同志社大学)	榊原雅人	p.TWS(6)

杉下守男

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 学会認定臨床動作法研修会	講師	2013年12月	第10回臨床動作法関西ワークショップ, 京都市	講師：成瀬悟策, 鶴光代, 杉下守男他	
2. 学会認定臨床動作法研修会	講師	2014年 3月	第19回高齢者臨床動作法ワークショップ, 東京都	講師：成瀬悟策, 鶴光代, 杉下守男他	
3. 学会認定臨床動作法研修会	講師	2014年 6月	第26回学会主催研修会, 東京都	講師：成瀬悟策, 鶴光代, 杉下守男他	

高木浩人

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 大学からのサポートに関する研究—サポート知覚と大学への要望の関連—	単著	2013年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要第9号		pp.11-15
2. 大学生の制御焦点とリスク志向の関連	共著	2013年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要第9号	三ツ村美沙子, 高木浩人	pp.17-23
3. 学生アルバイトにおける職務特性とワーク・モチベーションとの関連—成長欲求および制御焦点の調整効果の検討—	共著	2014年 3月	心身科学第6巻	三ツ村美沙子, 高木浩人	pp.69-77
C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 誠信心理学辞典[新版]	分担執筆	2014年 9月	誠信書房	下山晴彦(編集代表)	pp.612-615

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 組織コミットメント, 性格特性と行動の関連—大学生を対象とした調査—	学会発表	2013年11月	日本社会心理学会第54回大会(沖縄国際大学)	高木浩人, 石田正浩	
2. 特性としての制御焦点が大学生の組織コミットメントに及ぼす影響—対人的公正と開放性による媒介効果の検討—	学会発表	2014年9月	日本心理学会第78回大会(同志社大学)	三ツ村美沙子, 高木浩人	
3. 大学生の性格特性が組織コミットメントの情緒的要素に及ぼす影響—協調性が愛着要素に及ぼす影響に対する組織へのフィットの媒介効果—	学会発表	2014年9月	日本心理学会第78回大会(同志社大学)	高木浩人, 石田正浩	

千野直仁

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 数学協働プログラム「人間行動への数理の応用による問題解決」ワークショップの紹介	単著	2014年9月	行動計量学, 41巻2号		pp.83-88

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 小集団の成員間親近度の形成・変容についてのヒルベルト状態空間モデル	ワークショップ	2014年2月	人間行動への数理の応用による課題解決研究集会予稿集	千野直仁	
2. A general non-Newtonian n-body problem and dynamical scenarios of solutions	オーガナイザー	2014年9月	日本行動計量学会第42回大会発表論文集	千野直仁	
3. 非対称データ解析(2)	司会	2014年9月	日本行動計量学会第42回大会発表論文集	千野直仁	
4. 日本における数理心理学の展開 XXIII—「確率」の基礎—	司会	2014年9月	日本心理学会第78回大会発表論文集	吉野諒三, 椎名乾平, 岡本安晴, 重榊算男, 園信太郎, 中川正宣, 竹村和久, 千野直仁	
5. 科学的に「生きている」を考える: 指尖脈波を指標としたダイナミカルシステムアプローチ	司会	2014年9月	日本心理学会第78回大会発表論文集	岡林春雄, 雄山真弓, 鈴木平, 千野直仁	

八田純子

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 本当は間違っている心理学の話—50の俗説の正体を暴く	共著	2014年3月	化学同人	八田武志, 戸田山和久, 唐沢穰(監訳)	pp.243-276

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 自閉症と診断された女兒への発達支援	共著	2014年3月	愛知学院大学心理臨床研究 第15号	八田純子, 桃木徳博, 尾藤ヨシ子, 菊池真実, 横木由美子, 粕谷千晶, 原由梨花	pp.49-66
2. 青年期のソーシャル・サポート利用について(3)—信頼感との関連から—	単著	2014年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要心身科学 第6巻第1号		pp.89-97

3. Developmental trajectories of verbal and visuospatial abilities in healthy older adults: Comparison of the hemisphere asymmetry reduction in older adults model and the right hemi-ageing model	共著	2014年5月	Laterality, 2014	Takeshi Hatta, Akihiko Iwahara, Taketoshi Hatta, Emi Ito, Junko Hatta, Chie Hotta, Naoko Nagahara, Kazumi Fujiwara & Nobuyuki Hamajima	DOI:10.1080/1357650X.2014.917656
4. Developmental changes of prefrontal cortex and cerebro-cerebellar functioning in older adults: Evidence from stabilometer and cognitive tests	共著	2014年6月	Journal of Aging Science, 2014, 2:2	Takeshi Hatta, Taketoshi Hatta, Yukiharu Hasegawa, Akihiko Iwahara, Emi Ito, Junko Hatta, Naoko Nagahara, Kazumi Fujiwara, Chie Hotta, Nobuyuki Hamajima	DOI:10.1080/1357650X.2014.917656
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 若年者における怒り反すう特性と睡眠との関連	学会発表	2014年7月	日本社会心理学会第55回大会, 札幌	八田武俊, 八田純子	
2. 中高年者における怒り反すう特性と睡眠との関連	学会発表	2014年9月	日本心理学会第78回大会, 京都	八田武俊, 八田純子, 岩原昭彦, 堀田千絵, 伊藤恵美, 永原直子, 藤原和美, 八田武志	

牧田 潔

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 職場のいじめ(パワーハラスメント)被害と健康関連 QOL・主観的労働遂行能力との関連性	共著	2014年11月	心的トラウマ研究8号	牧田潔, 山本沙弥香, 高田紗英子, 加藤寛	pp.11-18
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. メンタルヘルスと惨事ストレス	講師	2013年12月	岐阜県消防学校, 岐阜	牧田潔	
2. 利用者の理解を深めるために	講師	2013年12月	障がい者支援施設小原寮, 愛知	牧田潔	
3. 対人支援職のメンタルヘルス	講師	2014年3月	障がい者支援施設小原寮, 愛知	牧田潔	
4. 看護職員間のパワーハラスメントとその被害者の精神的健康について	学会発表	2014年5月	第13回日本トラウマティックストレス学会, 福島	牧田潔, 山本沙弥香, 小田美代子	
5. Effects of Chromatic and Achromatic Color of the Rorschach on Brain Activation	学会発表	2014年6月	XXI International Congress of the international Society for the Rorschach and Projective Methods, Istanbul Turkey	Masahiro Ishibashi, Daisuke N.Saito, Chigusa Uchiumi, Naoki Aizawa, Kiyoshi Makita, Yugo Nakamura	
6. 投影法課題実行時における認知処理の神経基盤	学会発表	2014年8月	日本心理学会第78回大会, 京都	齋藤大輔, 内海千種, 相澤直樹, 牧田潔, 中村有吾, 石橋正浩	

松岡弥玲

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 人生の転機の内容と生じた感情に関する研究—青年期から老年期までの横断研究から—	単著	2014年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要		pp.133-143
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 自己調整方略のライフコース 学会発表・話題提供者	学会 発表	2014年3月	日本発達心理学会 第25回大会 京都大学	松岡弥玲	

吉川吉美

D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 東日本大震災被災者支援について	座長	2013年10月	日本心理臨床学会研修会	海老名悠希, 井戸川あけみ	
2. ストレスマネジメント	講師	2013年11月	名古屋健康カレッジ	吉川吉美	
3. 臨床動作学会研修会	講師	2013年11月	広島ファミリールーム	吉川吉美	
4. 東日本大震災被災者支援について	助言 者	2013年11月	第39回心理リハビリテ ーションの会	菅野寿男, 及川俊広	
5. 臨床動作学会研修会	講師	2013年12月	システムアプローチ研 究所	吉川吉美	
6. 臨床動作学会研修会	講師	2014年2月	情緒障害短期治療施設 愛育園	吉川吉美	
7. ストレスケア—東北ネットの立ち上げと 今後	講師	2014年2月	ストレスケア—東北ネ ット中間報告会	吉川吉美	
8. 動作法について(マレーシア)	講師	2014年3月	JABATAN KEBAJIKAN MASYARAKAT MALAYSIA	吉川吉美	
9. 動作法について(ベトナム)	講師	2014年3月	ダナン師範大学	吉川吉美	
10. 臨床動作法を用いた月経時の月経痛緩 和へのアプローチ	発表 (共)	2014年8月	第33回日本心理臨床学 会大会	新津裕子	
11. 高齢者の膝への臨床動作法のアプローチ	発表 (共)	2014年8月	第33回日本心理臨床学 会大会	伊藤 翔	